

わかやまをつくり守っています。

わかやまの建設

道路やトンネル、ダム、橋などを作り、災害をふせぐ「土木の仕事」と、工場やマンション、大型スーパーなどをつくる「建築の仕事」。わたしたちの安全で便利なくらしを支えているこの2つの仕事をあわせて「建設の仕事」といいます。いつも歩く道、わたる橋、海や川の水をせき止めるダムや堤防、学校や図書館・病院など、あたり前のようにあるものばかりだけど、実は全部「建設」の力でできているんです。

第10回

土木のしごと

「橋の修復工事」

生活に使う水を運ぶ管が川や水路をわたる橋を「水管橋すいかんきょう」と呼んでいます。和歌山市にも紀の川を渡る水管橋があり、2021年に橋の一部の修復ひつようが必要になりました。紀の川のせきがかべとなってクレーン船が入れなかつたり、夏場は工事ができなくなるという問題もありましたが、多くの人や機械、知恵が集まり、通常の1/3というおどろきのスピードで完成できました！



こんなこと知ってる!?

「ゆれ」で杭をうちこむ「バイブロハンマー」

固い川底に大きな杭(橋の柱となる部分)をうちこむ装置がこれ！クレーンゲームのクレーンのようですが、これがしっかり杭をつかみ、ゆらしながらグイグイと地面にうちこんでいきます。うった杭の上に橋げたと鉄板をのせて橋を作るのですが、左右がずれていたら橋がかたむいてしまうため、位置をはかり少しはなれた2方向からチェックし、無線や携帯電話で指示しながら慎重にうちこんでいます。



小さいけれどすごいパワー！大きな杭をぐいぐいうちこんでいきます。

橋の工事では、まずとなり100トンクラスのクレーン車が乗る頑丈な作業用の仮の橋を作ります、本来は片方の岸から作っていきますが、この時は時間がないため川の両側から同時に作り、まんなかで合体させました。

この人に聞きました。



建設の仕事はものづくりの楽しさを味わえる仕事です！

さこのぶや 碩修也さん

田辺市立田辺第二小学校卒

「みんなの生活が便利になるのが一番！」

この仕事にかかわって40年以上。トンネルに橋、道路といろんなものを作ってきましたが、なんといっても作ったものが長く残り、みなさんの生活に役立つというのがこの仕事のいいところだと思っています。誰が作ったかなんてわからなくても、できたことで便利になったとよこんでもらえるのが何よりうれしいですね。

プレゼントコーナー

和歌山県建設業協会さんから建設学習帳をプレゼント。

担任の先生にお願いして、クラス全員の数で申しこんでもらってください。

(ご担任の先生、よろしくお願ひいたします。)

※部数に限りがありますので、お申込多数の場合は先着順とさせていただきます。



【申込方法】

「学校名・クラス名・冊数、住所」をファックスください。

Fax.073-446-8881

白光印刷株式会社まで。

手厚い補償
保険金区分合計
最高5,000万円

契約者
割戻金制度
により
掛金負担が軽減

労働者と企業の
リスクを
カバー

新しくなって、さらに安心・納得！
社員と家族、会社を守る為に。

建設共済保険

法定外労災補償制度

割戻金の支払いが
始まっています。

公益財団法人 建設業福祉共済団

今すぐ、
ご加入を！

一般社団法人和歌山県建設業協会は「わかやま探検ミュージアム」を応援しています。

一般社団法人 和歌山県建設業協会

〒640-8262 和歌山市湊通北1丁目1-8
和歌山県建設会館 1F

True Construction Works 知ってほしい、本当の建設業を！

